



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	札幌農学校・東北帝国大学農科大学・北海道帝国大学留学生一覧
Author(s)	許, 晨; Xu, Chen
Citation	北海道大学大学文書館年報, 6, 82-129
Issue Date	2011-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/45218
Type	other
File Information	ARHUA6_006.pdf



< 資 料 >

札幌農学校・東北帝国大学農科大学・北海道帝国大学留学生一覽

許 晨

1. 中国人留学生名簿

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1902	周 忠緯	清国	浙江		農芸科
1903	屠 師韓	清国	浙江	附生	農芸科
1903	吳 超	清国	江蘇	東京の予備学校	農芸科
1903	汪 果	清国			農芸科
1903	方 時簡	清国	安徽	東京の予備学校	農芸科
1904	高 平	清国	浙江	[東京の予備学校]	農芸科
1904	張 傳一	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	史 澤咸	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	牛 獻周	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	辛 俊廷	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	李 成勵	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	張 幹庭	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	張 正坊	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	朱 兆垣	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	韓 德凝	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	周 秉琨	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科

[出典] 「札幌農学校簿書」、「帝国大学簿書」、「札幌農学校一覧」、「東北帝国大学農科大学一覧」、「北海道帝国大学一覧」、「恵林」、「学芸会雑誌」、「文武会雑誌」、「文武会会報」、「札幌同窓会報告」、「同窓農友会会報」（以上、北海道大学大学文書館所蔵）、北海道大学農学部所蔵卒業論文ほか

[備考] (1) 作成者による推定は [] 内に表記し、不確かな情報には「？」を付した。

(2) 身分欄の「聴」は聴講生、「選」は選科生、「全選」は全科選科生、「研」は研究生、「正」は正科生、「官費」は官費生、「私費」は私費生を示す。

(3) 卒業欄の「事変」は満州事変を示す。

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
	除名		
	1906		1907農科挙人、内閣中書→清国奉天府(吉林省農事試験場)技師、農務課長→監督→1913浙江実業司
	休学 1905.8除名		
	1906		
	除名		[退学後東京高等工業学校] 1917民国安徽省実業庁長
	1907		
	休学(中退)		同盟会会員、武昌革命参加、軍政府
	中退		同盟会会員、第七高等学校より東京帝国大学、武昌革命の時に帰国して民軍に呼応し山東軍政府を組織して外交司長に任ぜらる、嗣いで南京参議院議員となりしが南北統一後辞職帰省し、民国元年春山東墾植協会を創立し移民殖産を事とせり、当時選ばれて山東省議會議員となり後衆議院議員に挙げられ国民党に属し、又憲法起草委員を命ぜられしが、第一次国会解散後蒙古各地遊歴して開墾の状況を調査し藉りて袁氏横暴の鋒を避く、同五年又議員に復席せしが、六年六月再び国会は解散せらるるに至れり。その後経済調査局参議たり
	1908		1909まで農科大学研学→1917河北大学農科教授→1929教科書『蜂学』、国民政府教育司検事
	休学(中退)		
			綏遠知事
	死亡		
			同盟会員、農科挙人、于氏高等小学堂教員、黒龍江林務局局長
	休学(中退)		湖北宜都県知事
	休学(中退)		東京に行き、中国同盟会に参加、1905-06ごろ帰国、普通中学堂設立、辛亥革命
	1908		1915-17山東公立農業学校校長

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1904	楊 熙光	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	王 之鑑	清国	山東	山東省高等学堂	農芸科
1904	王 式适	清国	山東	直隸保定府高等農務学堂	農芸科
1904	魏 宗蓮	清国	山東	直隸保定府高等農務学堂	農芸科
1904 1909	周 慶慈	清国	山東	広東省同文館	予科 →農学科
1904	周 慶斌	清国	山東	広東水師学堂→同文館→ 東京弘文学院	予修科 →予科
1904	陳 宗蕃	清国	江蘇	江蘇官立学古堂	農芸科
1904	汪 芳績	清国	安徽	南京格致書院	農芸科
1904	齊 鼎頤	清国	天津	天津官立工芸学校	農芸科
1904	陳 松岩	清国	天津	天津日出学校→官立工芸 学校	農芸科
1904	李 應全	清国	広東	香港皇仁書院→天津官立 工芸学校	農芸科
1905 1908	陶 昌善	清国	浙江	京都第三高等学校	予科 →農学科
1905	邵 文鎔	清国	浙江	官派→清華学校→研数学 館正則英語学校	土木工学科
1906	程 修魯	清国	広西	東京弘文学院	農芸科
1906	岑 兆麟	清国	広西	京都第三高等学校特別予 科	農芸科
1906	于 樹楨	清国	山東	京都第三高等学校特別予 科	農芸科
1906 1911	吳 愷	清国	江西	弘文学院→正則学校	大学予科 →林学科
1906	黄 國琛	清国	江西	弘文学院→正則学校	農学実科
1906	林 大同	清国	浙江	弘文学院→高等工業学校 予科	土木工学科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
	1908		1909山東省農業専門学校教司兼農場長→1914山東省公署教育司技師→1918山東省長公署勸業委員→1921山東省立綿業試験場→1922山東省立綿業講習所→1927山東省立綿花育種場→1928死去
	1908		
	休学（中退）		山東都督府執法司民刑科長、北京順天府尹公署工程科長等を経て、権運署運銷科長
	休学（中退）		東大法学部卒清国河南勸業道衙門科長、綿業試験場長、農商部参事→1914民国湖北実業庁長→1931吉林省政府参議→1932満洲国権運署長
聴→選	1908 予科修了		
聴	1909 予科修了		
	退学		
			碧陽小学校
	1908		1913農務司検事
	退学		[雲南私立東陸大学]
	退学		
1908正	1911 農学士	日本に於ける小作人保護政策を論ず（2年）大豆の種子及其発芽に関する研究	帰国後農科進士を授けらる清国実業部の組織せらるるや其農政司長に任ぜり→1912南京政府農林部農務司司長→1914中華民國北京農林部農政局長、農商部農林局長→1917吉林省実業庁長→1925北京農業大学教務長→1929財政部北平印刷局局長、公債司司長→1944哈爾濱金城銀行
聴	1908 修了		魯迅親友、経済管理専門家
			[1922-24第一回国会常会衆議院議員]
	1909		
	1909		実業
官費 1911.7. 正	1911 1915 林学士	第二回北海道産炭材乾溜試験	1915南昌農業学校教諭 1919江西公立農業専門学校校長
1911.7. 正	1912	支那南昌桃源莊蔬菜園設計	
聴	1909 修了		1909工科学人→1910内閣中書、浙江鐵路公司→1915水利委員会創立→1920錢塘江工程局局長、浙江水利局局長など→1936死去

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1906	陳 樹棠	清国	浙江	清華学校→正則学校	土木工学科
1907	萬 勗忠	清国	貴州	貴州大学堂→東京弘文学院	農学実科
1907 1910	陳 嶸	清国	浙江	東京弘文学院	大学予科 →林学科
1907 1910	方 悌	清国	浙江	浙江省平陽県学堂	大学予科 →畜産学科
1908 1912	錢 秘孫	清国	浙江	慶応義塾小学校→ 東京高等師範学校附属中 学	予科 →農学科第二部
1909	黄 秉端	清国			土木工学科
1909	張 澤潤	清国			土木工学科
1909	黄 銘新	清国			土木工学科
1909	黄 覚愔	清国			土木工学科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1910 修了		土木橋梁専門家、湘桂鉄道広西大鉄橋、象山軍港、奉化方橋病院、樺社空港、東銭湖の改修など→1943死去
聴	1910 修了	支那貴州に於ける20町歩普通農業設計	同盟会会員、1910農科挙人→農林学堂教務長兼農科教員→1912貴州農事試験場場長→1913高等師範農政専門学校→北京農業大学→農商部中央農事試験場→河北大学、東北大学農林専科学校→1934遵義師範学校校長→1940貴陽農業改進所→1947死去
	1913 林学士	製材工場設計	（中国同盟会会員、辛亥革命参加）1913浙江省甲種農業学校校長→1914杭州笕橋農業学校校長→1915江蘇第一農業学校林科主任→1916教育団林場等→中華林学会を創立、独、米に留学→1925-52金陵大学森林系→1952林業部林業科学研究所所長→1971死去 1931南京第一農業学校教授 Arnold Arboretum Harvard University →1934金陵大学教授
正1908	1913 農学士	[Welchen Einfluss jetzt übt die Scholle Hokkaidos, auf die importierten Kurturrassen, aus?]	1913浙江省陸軍第一師獣医处处长及び浙江獣医学院院長→1929南京市衛生局專業場主任→国民党政府警衛軍軍部獣医处处长→1932軍部張家口軍馬補充連→1934青島血清製造所→江西省農学院獣医教授→福建農業改進処→1945金郷小学校校長、師範学校動物学教師→1947英士大学→1952浙江大学農学院→1974死去 陸軍獣医官（浙江省陸軍第一、三等獣医正兼陸軍獣医学院院長） 中華民國杭州陸軍第一師司令部
私費	1914 農学士	土地制度より見たる井田法	1914北京農事試験場技師兼北京大学講師→1917農商部検事、第一綿業試験場場長→1924中華民國駐日本公使館秘書（北京政府駐日公使館通訳官）など→1931南滿洲鉄道株式会社囑託→1932滿鉄東支鉄道督辦公署顧問→1934奉天路鉄総局參贊 東京市麹町区永田町→1931同上哈爾濱事務所内→南滿洲鉄道株式会社囑託（奉天鉄路総局）
聴	1912.9退学		
聴	1912.9退学		
聴	1910退学		
1911.7. 正	1912		1922京綏鉄道平滂線路設計図を作った 中華民國有京鞍鉄道技師 中華民國直隸省張家口綏鉄道総工程所

入学	氏名	国别	出身	学歴	専攻
1909	李 鏡蓉	清国			予科
不明	杜 立権	清国			林学実科
不明	熊 徳昌	清国			林学実科
1909	盛 先覚	清国	吉林		農学実科
1910	楊 崑	清国			林学科→林学実科
1910	王 大鶴	清国			林学科→林学実科
1910 1913	都 懐堯	清国	四川		予科→農学科第二部
1910	劉 兆麟	清国	四川		予科
1910 1914	高 維巍	清国	浙江	1905成城学校→第一高等学校第二部農科	農学科第一部
1910	張 宏訓	清国		大坂府立農学校農科	農学実科
1911	徐 葦舫	清国			水産学科
1912 1915	周 建侯	支那	四川	1905成城中学→東京高等師範→1909第一高等学校	予科 →農芸化学
1913	劉 翰臣	支那	吉林		予科
1914	朱 耒	支那			不明
1917	鄭 恩綏	支那	河北	直隸甲種水産学校 (河北水産専科学校)	水産学科漁撈部
1917	馮 鶴舟	支那	河北	直隸甲種水産学校	水産学科漁撈部
1917	潘 蘭馨	支那	河北	直隸甲種水産学校	水産学科製造部
1917	劉 綸	支那	河北	直隸甲種水産学校	水産学科製造部
1919	孫 盱	支那	山東	第一高等学校	農学部畜産学科第一部
1919	張 連森	支那	奉天	奉天省立甲種農業学校→東亜高等予備学校	農学実科
1919	沙 鐘銑	支那	奉天	奉天省立甲種農業学校→東亜高等予備学校	農学実科
1919	吳 國忠	支那	黒龍江	国立北京農業専門学校教員養成所	農学実科
1919	牛 文祥	支那	奉天		林学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
	1912.9命退学		
	1912.9退学		
	1912.9退学		
聴	[1912.9退学]		孫文に従い、革命に参加。1913湖南省農会→吉林
聴	1912.9退学		1913直隸実業団体
聴	1912.9退学		
官費	1916 農学士	日本維新ノ際ニ於ケル土地制度ノ変遷	1916実業→1917四川省重慶長安寺迷邊街鉄道銀行→1918成都同上
官費	[1912.9退学]		
	1917 農学士	Bakteriologische Untersuchung von fortdauernd bepflanzten Böden (so gen nan ten “ müde ” Boden)	浙江省甲種農業学校校長、1925浙江教育行政会に参加→1931実業
聴入聴	[1912.9退学]		
	1912.9退学		
	1918 農学士	I. Studies on the Constituents of Lotus Seed. II. On the Mucilage in the Fruit of Ficus Awkeotsang.	1918病氣療養→1920より国立北京農業専門学校、国立北京農業大学、国立北京大学農学院教授、農業化学系主任→1937国立北平大学農学院院长、国立西安臨時大学連合大学、1938国立西北連合大学農学院院长など→1939国立西南農学院1944国立北京大学農学院教授→1951河北農業科学研究所理化系主任→1973死去 土壤農業化学、農芸化学、生物化学
官費	1914退学		
	1920		中華民国天津水産学校→1956.6中ソ朝越四国漁業研究会議中共政府代表团全体代表→1968死去
	1920		
	1920		
	1920		中華民国天津水産学校→1934中華民国天津河北省立水産専科学校
正	1922 農学士	伊犁馬に関する研究	1922農商部第二種畜試験場長→1931済南農科大学学長
聴	1922	養鶏之飼料及設計	実業
聴	1922	中華民国奉天省洮南県王家村に於ける牧場設計	中華民国遼寧省奉天府水利局技術員
	1921.6. 除名		満洲国実業部囑託
聴	1922	中華民国奉天省安図県に於ける森林状況調査概略	

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1919	王 慶三	支那	奉天		林学実科
1919	王 鴻年	支那	奉天		林学実科
1919	王 新田	支那	奉天		林学実科
1919	翟 潤田	支那	奉天		林学実科
1919	張 國賢	支那	奉天		土木専門部
1919	毛 鵬程	支那	奉天		土木専門部
1919	蕭 明新	支那	奉天		水産製造科→1920 農学実科転入
1920	安 慶瀾	支那	吉林		農学実科
1920	劉 佐翼	支那	奉天	奉天省立農業学校農科卒業→東亜高等予備学校	農学実科
1920	謝 鳴珂	支那	福建	福建省立甲種農業学校林科 金陵大学予科	林学実科
1920	鄭 聿濬	支那	山東	山東省立農業学校 →東亜高等予備学校	林学実科
1920	馬 紹光	支那	河南	河南省立甲種農業学校	林学実科 →農学部林学科 1924
1920	朱 絵彬	支那	奉天	奉天省立農業学校林科卒業→東亜高等予備学校	林学実科
1920	張 駿業	支那	奉天		水産専門部
1920	邢 秉謙	支那	吉林		水産専門部
1920	程 鵬飛	支那	福建		水産専門部
1920	李 安人	支那	奉天		水産専門部
1920	張 魁恩	支那	吉林	吉林	土木専門部
1920	曾 昭璜	支那	河南		土木専門部
1921	蘇 正格	支那	奉天		農学実科
1921 1924 1927	陳 延中	支那	河南	河南省立第二中学校	農学実科 →農学部畜産学科 第二部→内科外科 診療農学部専攻生
1921	劉 漢書	支那	奉天		農学実科
1921	王 鑑	支那			農学実科
1921	于 同文	支那	山東	山東	農学実科 →農学部畜産学科 第二部

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1922	木材の保存性を高める方法に就きて	満洲国実業部総務司→1937産業部参事官
聴	1922	森林労働に対する意見	
聴	1922	治山に関する造林	
聴	1922	落葉松造林法	民国奉天省公署技士、拔正→長白県知事 兼税捐局長→満洲国長白県長→1937辞任
	1922		吉林省城自來水管理処
	1922		
	1924	南満洲之在来梨に就て	臥虎屯牧場長
聴	1923	緬羊飼養論	
聴	1922退学		
聴	1923	中華民国林政史論未成稿	
聴	1923	青島の林業に就て	
聴 →選 1924	1923 実科卒 1927 撰科修了	苗圃に関する研究	
聴	1923	中華民国奉天省に於ける重要樹種の調査	
聴	1922 授業料 欠納退学		
聴	1924		
聴	1923		福建省福州南臺蕩霞洲鴨港缶詰食品公司
聴	1923		中華民国营口奉天省立水産高級中学校 (1924成立) 校長
	1923		元洮東鐵路工理局長兼興安屯墾区建設処 長→黒竜江省政府諮議、洮昂鐵路局工務 処長、洮東鐵路工程局長等、満洲事変後 関内に入る
聴	1924		
聴	1924	中華民国東三省に於ける 稲作調査	
聴→選 →専	1927 選科修了	中華民国山東省之肥桃に 就て	中華民国→1940奉天高等農業学校→1944 満州奉天農業大学教授
聴	1922退学		
	1922まで在籍		
聴→選	1924	中華民国山東省之養豚事 業に就て	中華民国山東省済南国業専門学校教授

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1921	劉 文彬	支那	河南	河南省立中学	林学実科 →農学部林学科
1921	姚 光虞	支那	河南	河南省立中学	林学実科 →農学部林学科
1921	李 瑞增	支那	河南		林学実科
1921	左 同霖	支那	奉天		農学実科
1921	邢 善政	支那	山西		林学実科
1921	金 士堅	支那			土木専門部
1921	李 翰芳	支那			土木専門部
1921	張 苑林	支那	浙江		水産専門部
1921	宣 堯火 (侠父)	支那	浙江	浙江省立甲種水産学校	水産専門部
1921	黄 澄滄	支那			水産専門部
1921	王 清濂	支那			水産専門部
1921	黄 济民	支那			水産専門部
1922	羅 宗洛	支那	浙江	第二高等学校	農学部農業生物学科 →大学院植物生理学
1922	李 秉権	支那	山西	東大農学部農学実科	農学部畜産学科第一部
1922	熊 有為	支那	四川	東大農学部農学実科	農学部畜産学科第一部
1922 1925	薛 淵	支那	福建		農学実科 →農学部農芸化学科
1922	楊 暄	支那	江蘇		農学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴→選	1924	木炭に就て	
聴→選	1924	中華民国に於ける行道樹に就いて	
聴	1924	中華国内蒙古に於ける林業事業に就て	
聴	1924	蒙古に於ける畜産事業に就て	
聴	1924	吉林省に於ける林業調査	
	1922まで在籍		
	1922まで在籍		
聴	1924		
	1922 授業料 欠納退学		北大で共産主義を学び、帰国共産党に参加、黄埔軍校第一期、国民党中央軍事委員会参議、西安事変後周恩来と一緒に仕事、統一戦線に働きかけ、1938年に暗殺された
	1922まで在籍		
	1922まで在籍		
	1922まで在籍		
聴別選 抜文化 補給、 正科生	1925 農学士 1930 農学博士	On the Natual Effects between the Plant Growth and the Chang of Reaction of the Nutrient Solution with Ammonium Salts as the Source of Nitrogen 植物生長とアムニウム塩を窒素源としたる培養液の反応変化との相互的影響に就て（学士） Studies on the absorption of ammonia and nitrate by the root system of the higher plants（博士）	1929中華民国広東省国立中山大学生物学系教授→1932上海暨南大学理学院教授→1933南京中央大学生物系教授→1940浙江大学理学院生物系教授→1944中央研究院植物研究所所長→1945国立台湾大学校長（～1946）→1955.2上海市人民委員会委員、中国科学院生物学地学学部委員政协全国委員、主席団員
選	1925 選科修了	中華民国産羊毛品質に関する研究	北京農業大学→1944河北大学教授→山西農業大学→1954山西省農業建設庁→1955.2山西省人民委員会委員 1987中国畜牧獸医学会養羊研究会理事
選			
聴→選 文化補 給	1929 選科修了	中華木耳之成分（実科） 北海道に於ける安山岩風化の（農化）	
聴	1923まで在籍		

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1922	馮 言安	支那	安徽		農学実科
1922	賈 恒禮	支那	山西		農学実科
1922	関 恩霖	支那	奉天		農学実科
1922	戎 丙麟	支那	浙江		林学実科
1922	陳 明	支那	奉天		林学実科
1922	油 雯霏	支那	山西		林学実科
1922	席 秉章	支那	山西		林学実科
1922	蔣 蕙生	支那	江蘇	江蘇省省立農業学校卒業	林学実科
1922	張 文興	支那	山西	山西師範学校	土木専門部
1922	樂 志壯	支那			土木専門部
1922	趙 驥	支那	浙江		水産専門部
1922	金 焯	支那	浙江		水産専門部
1923	範 垂紳	支那	奉天	奉天省立兩級師範学校本科卒 →岡山第六高等学校	農学部畜産学科第二部
1923	向 善琴	支那	四川	東大獣医実科	農学部畜産学科第一部
1923	傅 廣儉	支那	奉天		農学実科
1923	于 巨川	支那	奉天	奉天第一中学	農学実科
1923	支 應掄	支那	山西		農学実科
1923	杜 子秀	支那	山西	山西省立中学	農学実科
1923	邵 德緯	支那	江蘇	江蘇第一農業学校	林学実科
1923	邵 均	支那	江蘇	江蘇第一農業学校	林学実科
1923	湯 謹餘	支那	江蘇		林学実科
1923	許 予備	支那	四川	四川農業学校	林学実科
1923 1926	劉 棟	支那	福建	福建農業学校	林学実科 →農学部林学科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1925	於中華民国京兆方武清県味農村苹果園設計書	法国巴黎大学理学博士 中央大学、労働大学、中山大学、浙江大学、雲南大学、中正大学→安徽大学農学院（安徽農業大学）→1955第一回安徽省人民委員会委員
聴	1925		
聴	1925	中華民国北部に於ける在来種果樹の異趣	1940北京中国留日同学会評議員
聴	1925		
聴	1925	漆樹栽培法に就て	
聴	1925	落葉松植樹造林に就	
聴	1925	落葉松造林法	
聴	1925	年々十万本造林する杉の苗圃設計	
聴	1926		
	1922まで在籍		
聴	1925		
聴	1925		中華民国浙江省定海省立水産専科学校
正科生文化補給	1926 農学士		東北軍牧場牧政科科長→1931奉天省鄭家屯天合長転黒龍江省黒龍江督軍牧養場→満洲国実業庁農務科科長→1934安東省公署実業庁長→1944満洲国奉天省実業庁長
選	1926年まで在籍		
聴	1924年まで在籍		
聴	1926	北海道に於ける家畜飼料価格調査	実業
聴	1926	西北綏遠を拓殖する大綱	実業
聴	1926	中華民国山西省太原府に於ける農業設計	実業
聴→研 1926 文化補給	1926	鼠害の研究と其駆除法	
聴→研 1926 文化補給	1926	混農林業に於ける栗林に就て	浙江大学教授、河北省立農学院教授、四川大学森林經理学教授
聴	1925三年生迄在籍		
聴	1926	ニセアカシア樹の造林	
聴→選 文化補給	1926	竹の造成及其の効用	

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1923	裴 士毅	支那	山西	山西省立第一中学	土木専門部
1923	王 熙中 (依衷)	支那	浙江	浙江水産学校	水産専門部
1923	王 建一	支那			水産専門部
1923	劉 祖昌	支那	奉天	奉天	水産専門部
1924 1927	張 清芬	支那	湖北	東大獣医実科	農学部畜産学科第一部 →専攻生 皮膚泌尿科学
1924	任 長庚	支那	黒龍江	吉林省第一中学校	農学実科
1924	陳 孝治	支那	河南	河南農業専門学校	農学実科
1924	向 鷺	支那	四川	四川重慶連合県立府中学校	農学実科
1924	高 化南	支那	奉天	奉天省立林業学校	林学実科
1924	厲 通維	支那	黒龍江		林学実科
1924	朱 大猷	支那	安徽	安徽省立第二甲種農業学校	林学実科
1924	安 事農	支那	安徽	安徽省立第二甲種農業学校	林学実科
1924	楊 履之	支那	福建	福建厦門集美学校	水産専門部
1924	姚 新吾 (姚 煥洲)	支那	広東	広東水産学校	水産専門部
1924	張 鴻樹	支那	吉林		水産専門部
1924	王 蔚文	支那	奉天	奉天海龍中学	水産専門部
1924	呂 秉心 (呂 学漁)	支那	福建	福建厦門集美水産学校	水産専門部
1925	宋 濤	支那	湖北	横浜高等工業学校応用化学科	農学部畜産学科第一部
1925	商 玉書	支那	奉天	奉天省立工業中学校	農学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1928		江蘇省交通庁長、綏遠の道路局長、日中戦争期、建国後、河北省交通庁
聴	1926		
聴			
聴	1926		中華民国営口奉天省立水産高級中学校
選→専			
聴→研 1927 文化補給	1927	中華民国黒龍江龍沙地方に於ける農場設計 南満洲に於ける水稻栽培法（研究論文）	
聴→研 1927 文化補給	1927	中華民国直隸省正定獲鹿県に於ける苹果園設計（農実） 中華民国河南鄭県に於ける梨園設計（農実研究生）	河南中山大学農芸系教授兼農科農場長
聴→研 1927 文化補給	1927		
聴	1927	鴨緑江右岸森林概況に就いて	満洲土們嶺林業試験場場長、鉄路総局農場長 1934東京農学大会に出席
聴	1925退学		
聴→研 1927	1927	中華民国行道樹に就て	浙江大学講師、金陵大学教授→南京林学院、浙江林学院教授 中国民盟メンバー『公有林施業原則施業案編訂方法』
聴→研 1927 文化補給	1927	桐樹に就て	蘇北農業学校（第四中山大学区立淮阴农业学校）校長→成都高等農業学校校長、著書衆→1950安徽省科学研究所農業生物研究室主任→1957農工民主党→「右派」
聴	1927年まで在籍		別名楊振礼、集美水産航海学校校長→シンガポール水産航海学校
聴→研 1927	1927		中華民国江蘇省農鋁庁
聴	1925病気退学		
聴	1927		
聴	1927		
選	1928	Beitrag zur Chemie der Tierischen Haut	1940-44浙江省奉化溪口武嶺農事試験場長
聴	1928	北海道に於ける羊及び豚の調査	

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1925	王 季春	支那	奉天	奉天省立師範学校	農学実科
1925	馬 紹援 (稜)	支那	河南	東亜予備学校	農学実科
1925	王 煥章	支那	吉林	吉林第二中学校	農学実科
1925 1928	曾 憲章	支那	河南	北京中学	林学実科 農学部農芸化学科
1925	徐 慶春	支那	奉天	旅順工科学堂電氣工学科 卒業 (高校)	工学部電氣工学科
1925	蘇 式銘	支那	福建	福建集美水産学校	水産専門部
1925	江 道	支那	浙江	水産学校	水産専門部
1925	周 世琮	支那	奉天	熊岳城中学	水産専門部
1926	姜 学海	支那	吉林	吉林省甲種農学校	農学実科
1926	湯 雨霖	支那	河南	河南省師範学校	農学実科
1926	李 士腴 (李 相符)	支那	安徽	安徽省立第二甲種農業学 校卒業、山東公立農業專 門修業2年、東京東亜高 等予備学校	林学実科
1926	蔡 鏡清	支那	湖北		林学実科
1926	朱 大鼎	支那	安徽	南京成美中学校卒業	林学実科
1926	周 其湛	支那	河南	北京郁文大学鉄道管理科 二年修了	林学実科
1926	李 恩慶	支那	直隸		水産専門部
1926	劉 錫恩	支那	福建		水産専門部
1926	王 体敬	支那	浙江		水産専門部
1926	張 云梯	支那	浙江		水産専門部
1926	孫 恩明	支那	直隸		水産専門部
1927	蔡 宗湯	支那	吉林	省立第三中学校	農学実科
1927	周 其光	支那	河南		農学実科
1927	胡 成梁	支那	吉林	省立第四中学校	農学実科
1927	汪 海徵	支那	奉天	熊岳城農業学校	農学実科
1927	陳 孝騫	支那	河南		林学実科
1927	李 祖超	支那			水産専門部
1927	朴 彰根	支那			水産専門部
1927	馮 靄驥	支那			水産専門部

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1928	南満洲産梨及び苹果に関する調査	
聴	1927三年まで在籍		
選→聴	1929	貯蔵並に孵化中に於ける鶏卵比重に関する実験報告	
聴→選	1928	中華民国鉄道枕木及び青島林務所業務状況調査書	
聴→正 1926	1928 工学士		奉天兵工廠
聴	1927三年まで在籍		
聴→研 1928	1928		
聴	1928		
聴	1929	吉林省に於ける農林調査	
聴	1929	日本稲作の害虫に就て	
聴	1929	林業労働問題	国民党→中共北海道支部書記、労働大学副教授、浙江大学講師、武漢大学講師教授、四川大学教授→新中国民主同盟、林墾部副部長、中国林業科学院副院長、北京林学院創始者
聴	1928まで在籍		
聴	1929	森林美論	安徽学院教授→台湾中興大学森林系
聴	1929	庭園に就いて	
聴	1927まで在籍		
聴	1929		
聴	1927まで在籍		
聴	1928まで在籍		
聴	1929		
聴	1930	牧場設計（中華民国吉林省双城県）	
聴	1928まで在籍		
聴	1930	世界近時の農業問題研究	
聴	1930	中華民国遼寧省の果樹栽培調査	満洲国産業部水産科長
聴	1930	森林と治水	1931.11.北海道帝国大学農学部副手（林学教室）
聴	1930		中華民国天津河北省立水産専科学学校漁撈主任
聴	1927まで在籍		
聴	1930まで在籍		

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1927	馮 華墀	支那			水産専門部
1927	葛 瑞珩	支那			水産専門部
1928 1931	劉 博文	支那		高等師範卒業	農学部農芸化学科 →大学院
1928 1934	陳 春澍	満洲		公主嶺農学校	農学実科 →農学部畜産学科
1928	張 治華	支那		東京東亜高度予備学校	農学実科
1928	趙 德宣	支那		省立第三高級学校	農学実科
1928	王 殿忱	支那			林学実科
1928	且 邦典	支那			工学部第二部類
1928	巴 耀	支那			水産専門部
1928	李 景彦	支那			水産専門部
1929	丁 文渤	支那		奉天南満中学校	農学実科
1929	王 廷政	支那		公主嶺農学校	農学実科
1929	薛 永建 (薛 進宝)	支那			土木専門部
1929	王 化民	支那			水産専門部
1930	何 純鵠	中華		秋田鉦山専門学校卒業 福岡県田川郡三井田川鉦 業所実習一年間	工学部第二部類
1930	張 際中	満洲		公主嶺農学校	農学実科 →農学部農業生物学

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1929 一年まで在籍		
聴	1929 一年まで在籍		
選	1931 農学士 1936まで大学院	乳腐の製造及び其の酵素化学的研究	1936北海道帝国大学農学部副手→北京大学農学院教授→1944中華民国廣西大学農学院教授→国立台湾大学畜産研究所教授
聴→選 1934	1931 1935.3.28. 除籍	中華民国に於ける馬の治療法の一班に就て	満洲国新京農鉦司農務課1934
聴	1931	牛乳加工所設計	
聴	1931	中華民国遼寧省西部の果樹栽培調査	
聴	1931	中華民国東三省に發生せる「松蝨」及び其除害法に就て	
正	1929 一年間だけ在籍		
聴	1931		中華民国青島市社会局伝染病院
聴	1931		中華民国遼寧省撫順千金寒儲金當
聴	1931 三年生まで在籍		
聴	1932	禾本科と荳科作物の開花出穂及び成熟に就ての調査	1932満洲国新京土木司水路科→1936吉林省公署技佐
正	1932		中華民国湖北省武昌蘭凌街軍政部工程処駐鄂弁事処
聴	1932 三年生まで在籍		
正	1933 工学士	（鉦山学外実習第二報告書）（秋田県由利郡道川村羽川村下濱村）日本石油株式会社由利礦場ニ於テ院内油田の開発計画（卒論）	山西省西北実業公司技師西北鑽探事務所主任
聴→選 1933	1936 農学士	北海道に於ける大豆病害の調査及研究（実科） Studies on the Physiologic Specialization and Saltation of Glomerella Gossypii (South) Edg. （農学）	1944満洲国奉天農業大学教授

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1930	王 仲彦	満洲	遼寧	北京大学理予科	農学実科 →農学部農学科
1930	關 増禄	満洲		熊岳城農業学校	農学実科 →農学部畜産学科
1930	符 俊	中華			水産専門部
1930	梁 國璠	中華			水産専門部
1930	蘇 明熹	中華			水産専門部
1931	田 毅春	中華 →満洲	奉天	熊岳城梨山農科中学	農学実科 →農学部畜産学科 第一部
1931	段 永嘉	中華 →満洲	吉林	公主嶺農学校卒	農学実科 →農学部農業生物学
1931	許 安文	中華 →満洲	奉天	熊岳城農業学校卒	農学実科 →農学部農業生物学
1931	杜 鵬凌	中華 →満洲			林学実科
1931	高 尚志	中華 →満洲			水産専門部
1931	張 乃高	中華			水産専門部
1931	蘭 錫候	中華			水産専門部
1933	臧 廣田	満洲	遼寧	東京帝大農学部獣医学実 科卒業	農学部畜産学科第 二部
1933	焦 才賢	中華			水産専門部
1934	王 長富	満洲		察哈爾省立農業専科学校	農学部林学科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴→選 1933	1936 農学士	短日操作期間の長短が稲の生長及び抽穂に及す影響について（実科） Effect of Shortday Treatment on the Development of Oryzasativa Plant Breeding Institute Faculty of Agriculture（農学）	福建省政府農業専員→中山大学農学院農芸系教授→華南農業大学教授、作物育種、遺伝学家
聴→選 1933	1936 農学士	最新家畜飼養法（実科） 満洲国之馬産	1944中華民国山西公署参議
聴	1933		
聴	1931 二年まで在籍		
聴	1931 二年まで在籍		
聴→選 1936→ 正1938	1939 農学士	馬鈴薯に対するとーます燐肥と過燐酸石灰の肥効試験（農実） 馬の血清蛋白量に就て（畜一）	1944興安西省通遼国立種馬所技士→1953勃利種畜場副場長、場長→1980七台河政治協商会議代表
聴→選 →正	1937 農学士	大豆小豆 Alfalfa 根瘤菌接種試験に就いて（実科） 満洲に於ける高粱黒穂病に関する研究	満洲国実業部予定だったが、江蘇教育学院、雲南大学植保院を創立、雲南農業大学教授
聴→選	1934 実卒 1938 農学士	北大農場及び果樹園に於て発見せる主なる害虫に就いて（農実） 北海道に於ける亜麻の害虫に関する研究	
聴	1936	満洲帝国の林政に就いて	
聴	1934		
聴	1933まで在籍		
聴	1932まで在籍		
選	1934まで一年 間だけ在籍		江蘇省立教育学院教授、江西農業院技師、広西大学農学院、東北農業大学獣医薬理学、1949年3月革命に投身、河南農業大学
聴			
選→正 1937	1937 農学士	火田と森林の関係及びその対策に就て	満洲国実業部→1944満洲国技士（鄭家屯営林署長）

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1934	田 馨	満洲			農学実科
1934	楊 鼎新	満洲		南満中学卒 父は採金株式会社依樺勃 鋳局	農学実科 →農学部畜産学科 第二部
1934	董 承育	中華			水産専門部
1934 1937	李 春材	中華	安徽	南京金陵大学三年修了	農学実科 →農学部畜産学科 第一部
1935	常 希堯	満洲		東北大学卒業	専攻生 牛学
1935	張 文周	満洲		熱河省立六年師範卒	農学実科
1935	杜 部	満洲		奉天省立第一農科高級中 学卒	農学実科 →農学部畜産学科 第一部1938
1935	王 玉成	満洲		金州農業学堂卒	農学実科
1935	施 有光	中華		国立武漢大学卒業	専攻生 応用菌学
1935	朱 先煌	中華	湖南	国立北平大学農学院卒業	専攻生 馬学→家 畜病理学1937
1935	黄 農	中華		国立広東大学高等師範博 物部卒業	専攻生 農業微生物 学
1935	馬 聯芳	中華	安徽	復旦大学修了 北平朝陽大学経済科修了	農学実科
1935	周 鴻文	中華	浙江	浙江省立高級蚕桑学校卒	農学実科
1935	俞 保権	中華	安徽	安徽省立大学二年修了	農学実科
1935	敖 匡之	中華	江西	江西省立農業院附設農業 実科高中林科卒	林学実科
1935	曾 慶和	中華	江西	江西省立農業院附設農業 実科高中林科卒	林学実科
1935	陳 文元	中華	福建	省立福州高級農業学校卒	予科農類
1935	鄭 景濤	中華	福建	福建私立育華中学	予科農類
1936	王 紹曾	満洲		察哈爾省立農業専科卒	農学部農学科
1936	関 重英	満洲	奉天	南満中学卒	農学実科 →農学部畜産学科 第一部
1936	任 宝善	満洲		南満中学卒	農学実科
1936	宋 延武	満洲		南満中学卒	農学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1936		
聴→選 1937	1940 畜産卒	満洲大豆に就いて（農実）	1944龍江省開拓庁殖産科畜政股長→吉林省瀋陽農学院畜牧獣医学科（建国後～1979）
聴	1935まで一年間在籍		
聴→選 1937	1937	中華民国に於ける棉栽培	北海道中華民国居留民会顧問→
専	1938年退学		
聴	1938	肥料三要素試験の亜麻の生育状況及びその生育各期の生態に及ぼす影響	
聴→選 1938	1941 農学士	甜菜の密植に就て（農実） 北海道庁種羊場に於ける輸入種牡緬羊と同場産種牡緬羊の繁殖成績の比較研究（畜一）	1944満州大同学院→1962訪日中国農業技術団団長
聴	1938	満洲緬羊に就て	
専	1937.3.31.退学 7月事変後帰国		
専	事変後帰国		山西農学院教授、畜牧学者、著書衆、1968文革死去
専	1937.3.10 退学		
聴	事変後帰国		1937帰国し、四川大学を卒業、1942国民政府農林部専門委員、安徽糧食増産副総督導。戦後「制憲」国民大会代表、台湾に行った。台湾農業推广学会理事
聴	事変後帰国		
選	1939 修了	満洲国果樹栽培調査	
聴→選	1939		
聴	1939		
聴	1939	西洋梨和梨支那梨特性調査	

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1936	姚 慶海	満洲	奉天	奉天省立第一農科高級中学卒	予科農類
1936	呉 景禹	満洲		哈爾濱第一高級中学卒	予科農類
1936	蘇 麟江	中華	河南	国立北平大学農学院農芸科	専攻生 畜産製造学
1936	江 文湘	中華	広西	江蘇南通大学農科畜牧	専攻生 内科学
1936	張 松蔭	中華	浙江	国立東南大学農学院卒業農学士	専攻生 羊学
1936	沈 達仁	中華			農学実科
1936	陳 道坤	中華	福建	福建省立福州高級農業学校	農学実科
1936	張 令澳	中華	浙江	浙江省立高級農科中学	農学実科
1936	劉 蔭武	中華	河南	拮雅高級中学	農学実科
1936	匡 可潤	中華	江蘇	江蘇省立宜興農林学校高級農林科	林学実科
1936	牛 瑞延	中華	福建	浙江省立高級農科中学	林学実科
1936	劉 志和	中華	河北	天津北洋大学予科卒、機械科1年修了、東亜日本語学校	工学部第三部類 (機械科)
1936	潘 一郎	中華	浙江	函館中学校卒	予科工類 →工学部電氣工学科
1936	鄭 紹成	中華	江蘇	上海復旦大学修了後、東京農業大学	土木専門部
1937	于 民侗	満洲	奉天	奉天省立第一農科高級中学 東京農業大学専門部農業科卒	農学部畜産学科第一部
1937	白 士翹	満洲	奉天	奉天省文会高級中学卒	農学実科
1937	郭 允卿	満洲	安東	安東省立通化師範卒	農学実科
1937	陳 徳元	満洲		南満中学卒	農学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴 満洲帝国教育 会補助	1939 1941 工学士		
聴	1940		
専	事変後帰国		西北聯大講師、西北農学院副教授、教授 畜産製造学
専	1935.11.帰国 のまま		
専	1937.3.31.退 学		福建省立高級農業学校校長、福建省立農 学院畜牧副教授 英米に考察、研究した経歴あり 1958甘肅農業大学教授 1987中国畜牧獣医学会養羊研究会理事
聴	1937.03.除籍		
聴	事変後帰国		
聴→正 1938	事変後帰国		
聴	事変後帰国		第二農場服務→国立西北農学院畜牧獣医 学系学士→西北農学院助教 1987中国畜牧獣医学会養羊研究会理事
聴	事変後帰国		
聴	事変後帰国		福建省立農学院副教授、英式大学、華中 林学院→南京林学院→浙江林学院林学系 主任、教授
聴→正 1937	論旨送還		
聴→正 1938	1941 工学士	渦電流による電刷子の抵 抗測定	
聴	事変後帰国		
選→正 1939	1940 農学士	乳牛飼料として大豆丸 粕及びH.O.C粕の飼料的 価値に関する比較試論	1944満洲国興農部畜産司→黒竜江省哈爾 濱畜牧局畜牧所（建国後～1979）
聴→正 1938	1940		
聴	1939まで在籍		
聴 満洲国 民生部 補給生	1939まで在籍		

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1937	杜 書田	満洲	錦州	奉天省立第一農科高級中学卒	農学実科 →農学部農学科
1937	于 智宣	満洲	吉林	吉林省立第一師範学校卒	予科農類
1937	馬 振囷	満洲	吉林	吉林師範→東亜学校	予科工類
1937	程 遠声	満洲	奉天	奉天第一工科高級中学校	予科工類
1937	崔 鎮國	満洲	奉天	奉天省立第三中学校卒	土木専門部 →工学部土木工学科
1937	張 慶文	満洲		奉天省立第一工科高級中学	土木専門部
1937	楊 汝南	中華	貴州	国立北平大学農学院、同 副教授	専攻生 農業組合 に関する研究調査
1937	葉 識	中華	江蘇	国立東南大学卒業	専攻生 植物病理学
1937	王 世浩	中華	福建	北平燕京大学農学専修科 卒業	専攻生 牛学
1937	曾 昭明	中華	江西	上海国立労働大学農学院 卒業	専攻生 園芸学
1937	周 祖適	中華	浙江	浙江省農科高級職業学校	農学実科
1937	陳 慶章	中華	浙江	浙江省農科高級職業学校	農学実科
1937	葉 澄清	中華	江蘇	北平文治高級中学	農学実科
1937	李 承初	中華	安徽	安徽省立高級師範学校	林学実科
1937	孫 偉東	中華	河北	天津国立北洋大学工学院 土木工学科修了	工学部第一部類
1937	陳 瑛	中華	河北	北平市立輔仁大学数学系 修了	工学部第四部類
1937	李 尚実	中華	江西	北平中国学院卒	理学部動物学科
1937	董 枢	中華	安徽	上海大同大学二年修了	理学部数学科
1937	徐 亜 (女)	中華	江西	江西省立工業専門学校	理学部化学科
1937	李 家琪	中華	河北	北平市育英高級中学	予科農類
1937	林 國培	中華	福建	嶺南大学附設高級中学	予科工類
1938	王 公震	満洲	奉天	麻布獣医専門学校卒業	農学部畜産学科第 二部
1938	吳 福昌 (普桑達班)	満洲	龍江	齊々哈爾高級中学	農学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴→選 1940	1942 農学士	本学農学部附属第二農場に於ける King 系に属する基礎牝牛の泌乳能力に関する考察（農実） 満洲国の綿花に就いて（工芸作物）	
聴	1937 帰学せず		
聴	1937 帰学せず		
聴	1937 帰学せず		
正	1940 1942.09 工学士	南満運河計画	
	1940		
専	事変後帰国		
聴	事変後帰国		
聴	事変後帰国		
聴	1937 帰学せず		
聴	事変後帰国		
正	1940 工学士	下路式ランガー型取網桁拱橋（一等道路橋）	来日前、学生運動により退学になった。帰国後、武漢大学、湖南大学、北京の大学で土木工学の教鞭を執った。訳著あり。
聴	1937 帰学せず		
聴	事変後帰国		
選	修了		1944満州国立種馬場
聴 1939年 改名 民生部 補助生			

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1938	董 一忱	満洲	新京	東京専修大学	農学実科 →農学部農学科 1941
1938 1941	趙 鴻江	満洲	安東	省立通化師範学校	土木専門部 →工学部土木工学科
1938	梁 廷晶	中華	広西	省立広西大学	専攻生 獣医学
1938 1941	張 銘基	満洲	奉天	省立通化師範学校	土木専門部 →工学部鉞山工学科
1939 1942.04.	鄭 謀平	中華	福建 長楽	格致書院修了 東京農業大学専門部農学科卒	農学部畜産学科第一部 →工学部機械工学科
1939	馮 景唐	満洲	奉天	東京麻布獣医専門学校卒業	農学部畜産学科第二部
1939 1942.04.	唐 鶴林	満洲	奉天	海城中学留学生予備校	農学実科 →農学部農学科
1939	朱 学程	満洲	奉天	營口高級中学留学生予備校	農学実科
1939	莊 日宣	満洲	奉天	留学生予備校	土木専門部
1939	フンスンチョクバ (馮森楚克巴)	蒙古		蒙古張北青年学校卒業	予科農類 →林学実科
1939	クフバトル (顧和巴特爾)	蒙古		崇正師範学校卒業	農学実科
1939	ナスンプホ (那森ト和)	蒙古		善隣協会高等商業学校特設予科	農学実科
1939	ソトナムジヤムス (索特那木札木思)	蒙古		蒙古張北青年学校卒業	農学実科
1939	テクジルト (徳格吉勒図)	蒙古		東京名数中学卒業	農学実科
1939	ゴンブジャブ (郭木布札普)	蒙古		東京正則予備学校修了	林学実科
1939	ラシズンネ (拉希仲乃)	蒙古		興安第一師範学校	土木専門部
1939	ユンダンジヤム (雲丹札木蘇)	蒙古		南京中央大学修了	土木専門部
1939	温 昶	中華			工学部機械工学科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴→正 1941	1943 農学士	The Kowliang in Manchuria (農実) Comparative Studies on The New and Old Seeds of Flax (農学)	1944興農合作社
聴	1941 専門卒 1943.10 工学士	公道橋設計 (主径間、三径間下路式単一鉀鋼橋)	
専	事変後帰国		
聴	1941 1943 工学士	俱知安鉞山の鉄鉞床について	
選	1942 1944 農学士	豚肉の加工の化学的考察 (畜)	1944北大工学部機械科→台湾中興大学教授
選	1941 農学士		
民生部 補助生 聴 → 1942選 →1944 正	1941 1944	紫外線の蓖麻蚕に及す影響 (農実) 水稻夷糯赤毛両品種間に於ける諸形質遺伝に関する実験報告 (農学育種学)	
聴 民生部 補助生	1941	日本に於ける除虫菊に就て	
聴	1941		
聴	1943		
聴	1941		1941-43興蒙委員会教育処研修
聴	1941		1941-43興蒙委員会実業処研修
聴	1941	加糖練乳の一工場的脂肪検定法	1941-43興蒙委員会教育処研修
聴	1941	内蒙古卓昭両盟に於ける農具の調査	1941-43興蒙委員会実業処研修
聴	1941	林野放牧に就いて	1941-43興蒙委員会教育処研修→西スニト女子家政実験学校教員
聴	1941		1940当時騎兵中尉→1941-43興蒙委員会教育処研修
聴	1941		1941-43興蒙委員会教育処研修
正	1941 工学士	船用5000馬力蒸浪タービンの設計及び製図	

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1940	王 滌生	満洲	新京	東京高等獣医学校卒業	農学部畜産学科第一部
1940	邱 英華	満洲	奉天	麻布獣医専門学校卒業	農学部畜産学科第二部
1940	魏 連順	満洲	龍江	東京高等工学校	工学部
1940	李 徳濬	満洲	奉天	奉天南満中学堂	土木専門部
1940	ウルヂダライ (烏勒吉達頼)	蒙古		蒙古学院師範班	予科医類 →医学部
1940	ポイントクトホ (佈彦托克陶胡)	蒙古		蒙古学院師範班	農学実科
1940	バインマンライ (白音莽頼)	蒙古		蒙古学院師範班	農学実科
1940	呉 廣堯 (ウ ケンヤオ)	蒙古		中山学院初級師範部	土木専門部
1940	岳 錦 (ユエチン)	蒙古		察南学院	土木専門部
1940	温 鼎	中華	河北	国立師範大学附属高校→ 私立育英高校 (偽) 北京大学工学部電 気工学科在学中選抜	工学部電気工学科
1940	錢 瑞有	中華	河北	北京鐵路専門学校	工学部
1940	劉 孝會	中華	河北	北京鐵路専門学校	工学部
1940	嚴 達	中華	江蘇	上海新長中学	予科農類
1940 1942.10.	韓 復勤	満洲	奉天	奉天南満中学堂	土木専門部 →工学部土木工学科
1940	武 占元	満洲	吉林	留学生予備校	林学実科
1940 1943.10.	梁 守珩	満洲	龍江	奉天南満中学堂	農学実科 →農学部農業生物学
1940 1942.10.	律 潤章	中華	河北	北京同志社中学	予科工類 →工学部鉸山工学科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
全選	1942 農学士	満洲国に於ける緬羊に就て	1944満洲国興農部畜産司→吉林省長春市軍委獣医大学（建国後～1979）
満洲帝国教育会補助生 全選	1942 農学士		1944奉天省瀋陽農場長
聴→正			
聴	1942		
正	1942 1945 卒業？		日本に留まり、開業医
聴	1942	蒙疆地方に於ける食用並びに飼料作物の栽培現況に関する調査	
聴	1942	蒙古の農業経済に就いて	
聴	1942		
	不明		
正	1942 工学士	超短波アンテナ	
聴	1943 工学士	10000馬力横型単輪複射ペルト氷車の設計及製図	
聴			
正			
聴 満洲帝国教育会補助生	1942 1945 工学士		
聴 満洲帝国教育会補助生	1942		
聴→全選 民生部補助生	1943	馬鈴薯挿木に対する生長ホルモンの効果に就いて	
正	1945 工学士		

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1940 1942.10.	廬 英権	中華	河北	北京弘達高級中学	農学実科 →農学部農学科
1941.04.	張 宗源	満洲	間島	東京高等獣医学学校卒業	農学部農学科
1941.04.	解 啓英	満洲	吉林	東京高等農林学校	農学部畜産学科第一部
1941.04.	廬 英奎	満洲	安東	宇都宮高等農林学校	農学部畜産学科第一部
1941.04.	侯 維煥	中華	天津		予科工類
1941.04.	張 耀斌	中華	天津		予科医類
1941.04.	ゴンブ (官卜)	蒙古		旗立小学校 →善隣高等商業学校特設 予科	農学実科
1941.04.	マウエンシヤン (馬 文祥)	蒙古		張家口興亜青年学校 →善隣高等商業学校特設 予科	農学実科
1941.04.	シヤンリジン (閃 日精)	蒙古		張家口興亜青年学校 →善隣高等商業学校特設 予科	農学実科
1941.04.	陳 耀錕	中華			農学部畜産学科第二部
1941.04.	陳 汝誥	中華			農学実科
1941.04. 1943.10.	尹 玉文 (琦)	満洲	関東州	奉天南満中学堂	予科農類 農学部農学科
1941.04. 1943.10.	何 萬雲	満洲	奉天	奉天南満中学堂	予科農類 農学部農芸化学科
1941.04. 1943.10.	于 宗孝	満洲	関東州	旅順高等公学校	予科工類 →工学部土木工学科
1941.04. 1943.10.	周 明安	満洲			農学実科 →農学部農学科
1941.04. 1943.10.	高 新塞 (ゴシンサイ)	蒙古		蒙古学院師資班→研数学 館	予科工類 →工学部土木工学科
1941.04. 1943.10.	ラシブルヂ (若憲佈勤吉)	蒙古		蒙古学院師資班→研数学 館	予科農類 →農学部畜産学科 第一部
1942.04.	林 維新	満洲			予科工類
1942.04.	張 忠徳	満洲			農学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴→選 →1944 正	1942 1945 農学士	華北農家経済	1960農学博士、台湾中興大学糧食作物研究所教授
選	1943 農学士	大豆の種子に対する「ホルモン」処理がその収量に及ぼす影響に就いて	1944大同学院
選	1943 農学士	乳汁代用飼料としての大豆粕納豆の犢牛育成試験	1944大同学院→教授
選	1943 農学士	牛乳の種々の処理が其の水素イオン濃度に及ぼす影響に就て 特に稀釈に関する化学的一考察	1944大同学院
聴	1943		西スニト女子家政実験学校教員 [1955.5 内蒙古自治区駐北京辦事処処長]
聴	1943	支那農業経営規模適正論	
聴	1943	近年蒙疆に於ける主食用作物栽培の概況	
選	1943 農学士		1944陸軍獣医官→台湾中興大学教授
聴	1943		
聴	1943 1945 農学士		新疆石河子大学教授、生産建設兵団植物病理学
聴→選 →正 1944	1943		
	1943		
聴→選	1943	蘿蔔分岐根に関する研究	
	1943 ?		
	1943 ?		
聴			
聴			

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1942.04.	チヨロ (喬魯)	蒙古		北京育英中学校 →善隣高等商業学校特設 予科	農学実科
1942.04.	ゲヨリクバト (昭儒格巴図)	蒙古			農学実科
1942.04.	トモンデルガラ (図門吉爾格勒)	蒙古			農学実科
1942.04.	汪 朗園	中華		北京朝陽大学経済系卒	農学部農業経済学
1942.04.	呉 槁	中華		天津大学経済系2年修業	農学部畜産学科第 一部
1942.04.	趙 順生	中華		山西省立大学工学院機械 系二年修業	農学部畜産学科第 一部 →専攻生 皮革1946
1942.04.	熊 先拳	中華			農学実科
1942.04.	韓 修	中華			土木専門部
1942.04.	劉 英華	中華			土木専門部
1942.04. 1944.04.	金 毓俊	満洲			農学実科 →農学部農業生物 学科
1942.10.	孫 膺龍	満洲		宇都宮高等農林学校農政 経済学科卒業	農学部農学科
1942.10.	宛 吉春	満洲		宇都宮高等農林学校農政 経済学科卒業	農学部畜産学科第 一部
1942.10.	譚 貴厚	満洲		盛岡高等農林学校獣医科 卒	農学部畜産学科第 一部
1942.10.	王 永新	満洲			予科農類
1942.10.	ハスウルドニ (ハス額爾徳尼)	蒙古		盛岡高等農林学校獣医科 卒	農学部畜産学科第 二部
1942.10.	婁 康後	中華		北京(燕京)大学生物系 卒	農学部農業生物学
1942.10.	李 士(子)元	中華			工学部土木工学科
1942.10.	王 政	中華			工学部電気工学科
1942.10. 1945	李 忠恕	中華			予科農類 →農学部林学科
1942.10.	劉 吉	中華			予科農類
1942.10.	張 子儀	中華			予科農類
1942.10.	陳 信	中華			予科医類
不明	韓 作佳	不明			土木専門部
1943.04.	呂 紹義	蒙古			農学実科
1943.04.	額林清札木蘇 (エリチンジャムス)	蒙古			臨時附属医学専門 部

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1944		
聴	無断帰国、退学処分		
聴	無断帰国、退学処分		
選			
選			
選	1945.9 農学士		
聴	1944 実科卒		1966北海道大学農学博士 教育部国立編訳館館長
聴	1944 専門卒		
聴	1944 専門卒		
聴	1944 実科卒		
選	1945 農学士		韓国高麗大学農大、1983-85韓国作物学会第11代会長
選	1945 農学士		納豆を中国に紹介し、商品化
選	1945 農学士		
正			
	1945 農学士		
選	1943 中退		1943帰国、四川成都燕京大学、(1944理学士)→清華大学、山東大学、中国科学院海洋生態学研究
	1945 工学士		
	1945 工学士		
1945京大より転入学	1948 林学士		
聴	1945 専門卒		
	1945 専門卒		日本に留まり、開業医

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1943.04.	張 庸伍	中華			農学実科
1943.04.	王 維九	滿洲			土木専門部
1943.04.	趙 耿忠	蒙古			土木専門部
1943.04.	王 運昌	中華			土木専門部
1943.10.	孟 憲家	滿洲		宇都宮高等農業学校	農学部農学科
1943.10.	孟 昭彦	滿洲			予科農類
1943.10.	潘 竹雄	中華			予科医類
1943.10.	陳 鴻群	中華			予科工類
1944	王 維平	不明			土木専門部 →農学部農業経済学1947
1944	王 斌慶	滿洲			農学実科
1944	孫 福廷	滿洲			林学実科
1944 1947	席 占明	蒙古	山西	蒙古高等学院	農学実科 →農学部農学科
1944 1947	バーザラクチャ	蒙古		蒙古高等学院	農学実科 →農学部農業経済学
1944	ドガルジャブ	蒙古		蒙古高等学院	農学実科
1944 1947	李 学士	蒙古	山西	蒙古高等学院	農学実科 →農学部農業生物学
1944	王 鄂	中華			農学実科
1944	姜 恕	中華			林学実科
1944	許 昆在	不明			理学部植物学科
1944	曾 紹徳	不明			予科修了
1944 1947	王 鐘旭	不明			土木専門部 →農学部農業経済学→法文学部
1944 1947	王 方一	不明			土木専門部 →農学部農業経済学 →工学部土木工学科
1944	許 樹恒	不明			水産学科
1944	唐 充安	不明			水産学科
1945	楊 士奇	滿洲		第一高等学校数理科特設高等科	農学部農学科
1945	王 忠義	滿洲		第一高等学校数理科特設高等科	農学部農業経済学科
1945	畢 竟仁	滿洲		第一高等学校数理科特設高等科	農学部農学科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
聴	1945 専門卒		
聴			
聴	1945 専門卒		
全選			
全選	1947 専門卒 1950 農学士		
全選	1947 実科卒 1950 農学士	胡蘿蔔の裂開の機構に関する研究	札幌華僑総会主席、北大非常勤講師、本屋経営
全選	1947 実科卒 1950 農学士		
全選	1950 農学士		1950.10.より研修員として農業物理学科入学 旱地農業灌漑及び土壌水の物理的現象
	1947 理学士		
		イールズ博士事件ニテ無期停学	
全選	1950 [文学士]		
全選	1950 工学士		
	1947		
	1947		
正			
正			
正			

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1945	張 国祥	中国	河北		土木専門部
1945	彭 鑑	中国	天津		土木専門部
1945 1948	佟 蔭康	中国	河北		土木専門部 →工学部建築学科
1947	朱 子文	中国		函館水産学校1947年卒業	水産学科
1948	田 福	中国	綏遠	盛岡農林1948年卒業	農学部農学科
1948	李 志廣	中国	上海	鳥取農林1948年卒業	農学部農業経済学 科
1948	王 秀閣	中国	山東	鳥取農林1948年卒業	農学部畜産学科 第一部獣医
1948	黎 憲祖	中国	広東	浦和高校1948年卒業	農学部畜産学科獣 医
1948	鄭 啓昭	中国	広東	浦和高校1948年卒業	農学部獣医学科
1950	曲 学礼	中国	山西	鳥取農専（農科）1947年 卒業	農学部農学科

2. 朝鮮人留学生名簿

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1905	李 殷澍 (細川 殷徳)	韓国	韓国	京城学堂→東京正則予備 学校正則英語学校	予修科→予科 →農学科
1909	韓 相琦	韓国			農学科
1910	尹 丙燮	韓国		水原農林学校	農学実科
1950	嚴 善鶴	韓国		盛岡農専（農科）1950年 卒業	農学部農業経済学
1913	李 允載	朝鮮	朝鮮		農学実科
1913	李 鐘旿	朝鮮	朝鮮		林学実科
1914	徐 世甲	朝鮮		鹿児島高等農林学校撰科 卒？	林学実科
1918	申 東起	朝鮮	朝鮮		農学実科
1919	尹 相曦	朝鮮	朝鮮		農学実科 →農学部農学科
1919	金 泰柱	朝鮮	朝鮮		農学実科

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
	1948 専門卒 1951 工学士		
正	1950 卒業	札幌附近の陸水調査	
全選	1951 農学士		
全選	1953 農学士		

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
	1911 農学士	日本に於ける小作人保護政策を論ず（2年） 稲麦論の選種法に就て（卒論）	
	1910.01.家事のため退学		
特入聴講生			
全選			
	1916	土地改良を伴う普通農業設計於朝鮮水原	1936朝鮮馬山私立昌信学校
	1916	朝鮮に於ける林業の現状	朝鮮慶尚南道東萊日新女学校教諭
	家事退学		
	1921		
選	1925 選科修了	平安南道に於ける稲作調査（農実） 各種の土壤の米の品質に及す影響に就て	朝鮮総督府技手 京城府光化門通朝鮮総督府殖産局→1936朝鮮慶尚北道聞慶郡郡守→1944朝鮮総督府外事部拓務課事務官
	1922	西鮮に於ける苹果栽培論	朝鮮京城徽文高等普通学校教諭

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1922	林 浩植 (高橋 浩)	朝鮮	平安南道		予科英語 →農学部農芸化学科 →大学院食品化学
1924	崔 永澍	朝鮮	京畿道	札都高等普通学校	農学実科
1924	崔 永福	朝鮮	京畿道		林学実科
1925	李 寅碧 (李 秀逸)	朝鮮	平安南道		農学部林学科
1926	金 徠銖	朝鮮		広島山陽中学校	農学実科
1926	姜 顕哲	朝鮮			水産専門部
1926	安 鈞	朝鮮			予科英語
1927	金 再学	朝鮮			予科英語 →農学部農業経済学
1927	金 景洙	朝鮮			予科英語 →農学部農業経済学
1928	金 仁植	朝鮮			農学部農業経済学
1928	金 昌河	朝鮮			予科英語 →農学部農業経済学1931
1928	曹 台元	朝鮮			予科英語 →農学部畜産学科第一部1931
1928	許 煉	朝鮮			予科英語 →農学部農学科1931
1928	閔 慶植	朝鮮		京城徽文高等普通学校	農学実科→農学部農学科
1928	崔 理邾	朝鮮		公立咸興農業学校	農学実科
1928	李 相壽	朝鮮		大邱農林学校	農学実科
1928	安 相漢	朝鮮			水産専門部
1928	劉 泰勲	朝鮮			水産専門部

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
	1928 農学士 1936 農学博士	Studies on the Chemical and Physical Properties and Nutritive Value of Protein of Sawa-millet (学士) Chemical studies on Rhizopus Japonicus 「リゾプスヤポニクス」の化学的研究 (博士)	1931-34北海道帝国大学農学部副手→ 1944大日本報国会日本勤労栄養学校教授
	1927	開城白菜栽培論全	実業
	1927		
一部選科	1928	朝鮮林政史概論	
聴	1929	蚕種製造に就いて	朝鮮平壤平安自動車会社重役
聴			
聴	1929		
聴	1933 農学士	朝鮮農村に於ける土地所有関係に関する研究——特に過小農的土地細分化に就いて——	東洋拓殖株式会社社員
聴	1933 農学士	米谷専売制研究	朝鮮晋州区慶尚南道産業部産業課普通農事掛→1944朝鮮慶尚南道庁普通農事係
選	1932.3修了 1934 農学士	朝鮮の小作問題	1944北星農場々長
正	1934 農学士	朝鮮の農業恐慌に関する研究	大同農村社
正	1934 農学士	満洲産荏胡麻油粕の消化率に就て	
聴→正 1929	1934 農学士	朝鮮苹果栽培試論	1944朝鮮総督府道技手（忠清北道産業課）
聴→選 1931	1934 農学士	朝鮮に於ける苹果樹栽培（農実） 苹果梨櫻桃の枝葉の塩素酸加里に対する抗毒性と耐寒性との関係に就いて（農学）	1934江原道農事試験場→1944朝鮮江原道属技手（春川道庁農村振興課）
聴			
?	1931	朝鮮の農業	実業
聴	1931		
	1931		1934朝鮮咸鏡南道庁水産會

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1929	金 鐘禧 (金城 鐘禧)	朝鮮			予科英語 →農学部畜産学科 第二部
1929	張 相旭	朝鮮			予科英語 →農学部農学科
1929	李 京燁	朝鮮			水産専門部
1929 1934	金 憲奎	朝鮮		平壤崇実専門学校	予科英語 →農学部農業生物学
1929	任 明宰	朝鮮			予科 不明
1930	李 根台	朝鮮		広島高等師範学校理科第 三部1928卒	農学部畜産学科第 一部
1930	權 寧大	朝鮮			理学部物理学科
1930	洪 達善	朝鮮			予科英語 →農学部農業経済 学
1931	金 命午 (金田 命潤)	朝鮮			予科英語 →農学部農学科
1933	李 壬道	朝鮮			水産専門部
1934	池 鐵根	朝鮮			水産専門部
1934	金 亨澤	朝鮮		平壤崇実専門学校二年	農学部農芸化学科
1935	盧 慎圭 (岡村 慎圭) (岡村 準一)	朝鮮			予科農類 →農学部農芸化学 科
1935	安 秉烈 (方山 烈)	朝鮮			予科農類 →農学部農業経済 学
1935	金 容玼 (光山 耕次)	朝鮮			予科農類 →農学部畜産学科 第二部
1936	金 順鳳 (金邑 順雄)	朝鮮		鹿児島江東農林学校養蚕 科	農学部農業生物学
1937	玄 玉元 (高峰 玉夫)	朝鮮		崇実専門学校卒業	農学部農業生物学
1937	金 豊泳 (金山 豊一)	朝鮮		崇実専門学校農学科卒	農学部畜産学科第 一部
1937	崔 平楫	朝鮮			理学部地質学鉱物 学科
1937	孟 道源 (大山 廣容)	朝鮮		永生高普	予科農類 →農学部農芸化学 科1940
1938	金 賢奎 (圭)	朝鮮		崇実専門学校農学科卒	農学部畜産学科第 一部

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
正	1938 農学士		1944朝鮮総督府家畜衛生研究所
正	1932 1935 ?	朝鮮平安北道稲作栽培論	
正	1932		
正	1937 農学士	Beitraege Zur Keantnis Der ANOBIIDEN JA- PANS (日本産死番虫科 の研究)	
正	1932		
選	1934 農学士	朝鮮老廃牛処理の一方法 としての缶詰製造に就いて	1934朝鮮平壤府崇実専門学校→1944満洲 国安東省立鳳城国民学校
	1933 理学士		
	1932		
正	1941 農学士	生長ホルモ処理による除 虫菊及ミグヨモギの繁殖 に関する研究	
選			
正	1941 農学士	菜豆藁の飼料敵価値に 就て	
正	1939	朝鮮開国前史 1582- 1876	1944京城帝国大学大学院生
正	1941 農学士		
正	1939 農学士	カヒコの Corpus Allatum ホルモンに就いて	
正	1940 農学士	Studies on Lily Mosaic Disease	1944地方産業技手（黄海道苹果試験場）
選→正 1938	1941 農学士	牛乳の加熱による酸度変 化の一考察	1944朝鮮総督府農林局畜産課
	1940 理学士		
	1942 農学士	酵母増殖に関する研究	1944東洋拓殖株式会社朝鮮全南済州邑東 拓済州工場
選			

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1938	孫 致武 (孫本 致武)	朝鮮			理学部地質学鉍物 学科
1938	廬 溶河 (豊川 溶河)	朝鮮		崇実専門学校農学科卒	農学部農学科
1938	丁 炳尊 (大島 徳哉)	朝鮮		崇実専門学校農学科卒	農学実科 →理学部地質学鉍 物学科
1939	崔 在甲 (中) (星野 光慶)	朝鮮		崇実専門学校農学科卒業	農学部農学科
1939	全 平水	朝鮮			理学部物理学科
1940	季 敏載 (季家 敏載)	朝鮮		蒙古学院師範班	理学部植物学科
1940	龍谷 起	朝鮮		蒙古学院師範班	理学部植物学科
1941	長本 義俊	朝鮮		盛岡高等農林学校獣医科 卒	工学部機械工学科
1941	武宮 史枝 (金 三純)	朝鮮		東京女子高等師範 学校選科	理学部植物学科 →大学院応用菌学
1941	重黎 永善	朝鮮			理学部動物学科
1941	平川 湊元	朝鮮			予科農類
1941	巖本 商國	朝鮮			予科工類 →工学部土木工学 科
1941	吉 玄黙	朝鮮			予科理類 →医学部
1941	固城 安永	朝鮮			臨時附属医学専門 部
1942.04.	林 種黙	朝鮮		崇実専門学校卒業	農学部農学科
1942.04.	金子 正	朝鮮			医学部
1942.04.	柳江 隆	朝鮮			工学部鉍山工学科
1942.04.	松堂 清	朝鮮			理学部地質学鉍物 学
1942.04.	朴 壽浩	朝鮮			予科農類 →農学部林学科 1944
1942.04.	新井 健錫	朝鮮			予科理類
1942.04.	香山 潭	朝鮮			農学実科
1942.10.	大山 廣哲	朝鮮			予科医類
1942.10.	金本 泳俊	朝鮮			予科農類
1943	石川 汶甲	朝鮮			予科医類
1943	中橋 福治	朝鮮			予科工類

3. 台湾人留学生名簿

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1928	阮 徳茂	台湾			予科独語 →医学部
1931	徐 先鉞	台湾			予科英語 →農学部農学科
1940	程 瑞炎	台湾		台中第一中学校卒業	予科医類
1941.04.	魏 振昆 (吉條 健次)	台湾			臨時附属医学専門部
1941.04.	曾 匡如	台湾			臨時附属医学専門部
1942.04.	曾 瑞鶴	台湾			予科医類
1942.04.	方 仁次郎 (芳村 次雄)	台湾			臨時附属医学専門部
1942.10.	岡本 海男	台湾			工学部鉱山工学科
1942.10.	揚 覚民	台湾			予科医類

4. インド、タイ留学生名簿

入学	氏名	国別	出身	学歴	専攻
1905	エル、バルタクル (L. Barthakur)	印度	印度	カルカッタ大学	農学科→農芸化学科
1905	ゼー、エン、シル カル (J. N. Sirker)	印度	印度	リプトン大学	農学科
1907	エス、エン、ポー ス (S. N. Bose)	印度	印度		農学科
1907	ピー、ケー、ビスワ ス (P. K. Biswas)	印度	印度		農学科農芸化学
1921	アラムーダ ナラヤナンナイヤ	印度	印度		不明
1940	マニットバヤカ ンナダナ	泰國		麻布獣医専門学校別科卒業	農学部畜産学科第一部

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
正	1935 医学士		
正	1937 農学士	ライ麦の自家不稔性に関する生理学的研究（育種学）	
正			
正			

身分	卒業	卒業論又は報文テーマ	職業
撰	1907撰科修了	On the Composition of a few Indian Leguminous Seeds and their Uses	
撰			
選	1909選科修了	Observations on Rice and Wheat Flowering	
選 → 1908正	1911 農学士	An Investigation on the Composition of Squash	1944 Inspector of Agricultural school P.O.Raamna Decra Bengal, India→英領印度大学教授
	1923		
選			